

2021（令和3）年度 自己評価・学校関係者評価報告書

2022年6月
大井うさぎ幼稚園

1 本園の教育目標 自分で考えて、自分で行動出来る」ようになること。

2 重点目標 一人ひとりの子どもを大切にされた適切な指導を行い、質の高い教育・保育の実践を目指す。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	「教育環境」 感染対策を実施しながら、安心して園生活を送れるようにすること。	B	マスクの着用、食事中の会話を控えること等を、子ども達が理解して無理なく行えるように伝えた。習慣として定着している。子どもの表情が見えにくいので、明るく声をかけるように心がけた。
2	「教育環境」 朝の自由遊びの時間に、新しい遊びを数週間ごとに設定し、子どもたちの遊びを充実させる。	A	教員が工夫して遊びを設定した。早く幼稚園に行きたいという子もいて、楽しみになっていたようなので、今後も続けていく。
3	「特別支援教育」 関係機関、家庭との連携をとり、1人ひとりに合ったサポートを柔軟に実施する。	B	個別に必要なケースに応じて、教員間で情報を共有し対応した。
4	「教育環境」 英語や水泳の外部講師の指導を受けることで、興味関心を広げる。	B	水泳は、水に慣れて楽しめるようになった。これをきっかけに家庭でスイミング教室に通い始める子もいた。英語は、各学年に適した内容ではないことがあるので、講師に伝えて改善していく。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
B	上記1、2、3については、感染対策をしながら、子ども一人ひとりに寄り添い、遊びを充実させることができた。4では、外部講師との連携が不十分で子どもたちに適した指導が行えていなかったため、今後改善が望まれる。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育環境	自然の少ない都会で、生物や植物への興味関心を持てるような園庭作りを進める。
2	特別支援教育	個別指導計画を作成し、専門家の助言を受けながら適切な指導を行う。

6 学校関係者評価委員会の評価

- ・保護者のアンケートによると園の重点目標に対しての評価は好意的であり、コロナ禍でも園の努力により子ども達が色々な体験をさせてもらったという感謝の言葉がみられた。日々の保育について努力している様子が感じられる。
- ・バスキャッチなどのアプリや検温サービスなどのITの活用もされており、保護者に便宜をはかっているがこれは時代的にも必要なことである。
- ・保育内では体育遊びなどで子どもの様子をつもっと知りたいという保護者の意見があったが、今後写真や動画などで知らせると、保護者の園への理解が深まるのではないかとと思う。